

令和6年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和6年2月7日
春日部市立正善小学校

自己評価結果に対する学校関係者評価

【達成状況による評価】

※ 高評価割合 90%以上…A 70%以上90%未満…B 70%未満…C

評価内容	自己評価		学校関係者評価
	達成状況 による評価	来年度の改善点等	
【学校教育目標】 学校は、学校教育目標達成に向けて教育活動を実践している。	B	目指す学校像に向け、本年度の教育活動の見直し・改善を図り、教職員一丸となって教育活動に取り組む。	A
【学力向上】 学校は、わかる授業を実践し、確かな学力を身に付けさせるている。	A		A
【家庭学習】 学校は、家庭学習の推進に積極的に取り組んでいる。	B	学年に応じた家庭学習の取り組み方を考え、家庭と協力しながら家庭学習の定着に取り組む(ICT活用も考慮)	B
【自己肯定感】 学校は、子供のよさを認め、自己肯定感を高めながら、学校が楽しいと感じられる指導をしている。	B	児童に自己肯定感、自己有用感を持たせるための指導について研修・実践をしていく。	B
【豊かな心】 学校は、いじめや差別、暴力等の行為に対して、適切に指導している。	B	道徳科を中心にいじめを許さない土壌づくりをしていく。 児童が相談しやすい体制をつくる。	B
【規律ある態度】 学校は、「正善小あたり前のこと17か条」の指導に、積極的に取り組んでいる。	A		A
【体力向上・健康教育】 学校は、体力向上に関する指導や健康教育に積極的に取り組んでいる。	B	体育の充実をさせていくとともにフレッシュタイムの見直しをする。 食育、健康教育を計画的な実践をしていく。	B
【安心・安全】 学校は、交通安全、災害、不審者や事故に対する安全教育に積極的に取り組んでいる。	A		A
【開かれた学校づくり】 学校は、ホームページや学校だより等で、教育活動の様子を積極的に伝えている。	A		A
【地域連携】 学校は、家庭や地域と協力して、教育活動に取り組んでいる。	A		A
【特色ある学校】 学校は、行事や学習活動を通して、特色ある学校づくりに積極的に取り組んでいる。	B	学校行事や児童会活動等について、児童が楽しく、意欲的に取り組める活動であるかを見直し、計画・実践していく。	B

学校運営協議会委員による意見

- ・高学年には、スマホの使い方やSNS等について教育が必要になってきている。家庭での教育が最も大切であるが、学校でも取り上げていくことが求められていると思う。
- ・家庭学習と自己肯定感について、教職員の評価が低いことをどのように改善していくのか、検討していただきたい。
- ・先生により、ノートのコメントの差が気になる。学校とのつながりを感じるものなので、一言でも子どもの励みになり、コメントを楽しみにしている。